

- ・購入1年後アンケート結果 購入者数39名うち回収数37件 別紙1
- ・購入後（3か月）と購入1年後の聞こえ比較 別紙2

- ・「8 テレビやラジオの音が聞き取りにくいことがありますか」
→「はい」と回答した者が20%増加。

- ・「9 聞こえないことで、やりたいことが十分にできないと感じますか？」
→「はい」と回答した者が17%増加、「いいえ」と回答した者が20%減少。
- ・「13 今後、参加してみたいと思う介護予防活動についておしえてください」
→「地域の通いの場」と回答した者が購入後3名に対し、9名に増加

4. 補聴器を使用していない者の回答状況について

(1)「14 購入した補聴器を「ほとんど使用していない」「全く使用していない」理由をおしえてください」においては、3名から複数回答あり。回答の内訳については、以下のとおり。

- ・聞こえの改善が感じられない 1名
- ・装着が不快に感じる・痛い 1名
- ・電池・充電が面倒 1名
- ・その他（すぐに耳から外れてしまう） 1名

(2)「15 購入してから、いつ頃まで補聴器を使用していましたか」の回答の内訳については、以下のとおり。

- ・3か月未満 2名
- ・3か月～6か月 1名

5. 補聴器店及び耳鼻咽喉科との繋がり

(1)「16 購入した補聴器のために、補聴器店へ行くことはありますか。」の回答の内訳については、以下のとおり。「定期的に行っている」及び「必要な時に行っている」と回答した者を合算すると、回答者の76%が購入後も継続して補聴器店へ行っていることが確認できた。

- ・定期的に行っている 15名
- ・必要な時に行っている 13名
- ・ほとんど行っていない 5名
- ・全く行っていない 4名

(2)「17 補聴器を購入してから、耳鼻咽喉科を受診しましたか。」の回答の内訳については、以下のとおり。回答者の35%が購入後も耳鼻咽喉科に受診したことが確認できた。

- ・はい 13名
- ・いいえ 24名

6. 補聴器を使ってみて感じた効果

「18 補聴器を使ってみて感じた効果をおしえてください」の回答の内訳については、以下のとおり。補聴器の使用により聞こえが改善し、人とのコミュニケーション量の増

加、外出の頻度の増加に繋がった者が多いことが確認できた。

- ・外出する機会が増えた 11名
- ・運動する機会が増えた 3名
- ・人と会話する機会が増えた 19名
- ・その他（自由記述） 8名

7. 今後参加してみたいと思う介護予防教室

「19 今後、参加してみたいと思う介護予防教室についておしえてください」の回答の内訳については、以下のとおり。地域での活動に関心をもつ者が多いことが確認できた。

- ・あさひかわ健幸運動教室（市主催） 8名
- ・認知症予防教室（市主催） 8名
- ・地域の通いの場 9名
- ・その他（自由回答） 7名

8. この事業を活用した感想や意見（自由回答） 別紙1

【本事業による効果】

・令和6年度補聴器購入者の97%が継続して補聴器を使用しており、補聴器購入者の76%が購入後も継続して補聴器店に行っていること、35%が購入後も耳鼻咽喉科に受診したことが確認できた。

・補聴器を使用による聞こえの状況は、購入1年後においても概ね変わらず維持しているが、購入してから1年経過したことにより聞こえの状況の新規性が薄れ、気持ちの面が落ち着いたことが伺える。しかし、補聴器を購入してから、地域の通いの場に対し興味を示す者が増加していることが認められた。

・本事業により、高齢者の外出意欲の向上や地域交流の促進につながり、介護予防にも良い影響を及ぼす効果があった。